

ほふ

Hofu

しぎかい 市議会

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/site/sigikai/>

E-Mail gikai@city.hofu.yamaguchi.jp

だより No.68

令和5年2月15日

先進地の視察を行いました

詳しくはP10をご覧ください



豊後大野市(新規就農者技術習得研修施設)



笠岡市(移住・定住促進)



鹿児島市(かごしま環境未来館)

12月定例議会

議案の概要 P2～P3

正副議長挨拶 P3

一般質問 P4～P9

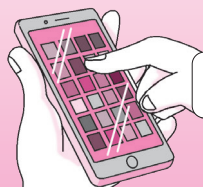
デジタル推進調査特別委員会 P9

産業建設委員会所管事務調査 P9

視察報告 P10

会派等名簿 P11

3月定例議会の予定 P12



議会中継がスマートフォンで見られます!

防府市議会



令和4年 12月 定例議会

12月定例議会は、11月22日から12月14日までの会期23日間の日程で開催されました。

市長から「原油価格・物価高騰対策」「第53回防府読売マラソン大会」「新型コロナウイルス感染症対策」についての行政報告があり、令和4年度一般会計補正予算など、議案23件、選任5件、報告4件を審議しました。

主な議案等と、審議経過の概要についてお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」は、P3をご覧ください。

予 算

■令和4年度一般会計補正予算

11億9,040万円を増額し、補正後の予算総額を506億8,709万6千円とする予算案が提出され、可決されました。主な事業は次のとおりです。

・出産・子育て応援給付金事業

出産や育児に係る経済的負担を軽減するため、妊娠届出時と出生届出時にそれぞれ5万円のクーポン券を配付します。

(1億8,000万円)



・子育て世帯生活応援事業

光熱費や食費などの高騰の影響を特に受ける子育て世帯を応援するため、市内店舗で使用できるクーポン券を配付します。

(1億5,700万円)

対象者 15歳以下の子どもがいる世帯

支給額 子ども1人当たり10,000円のクーポン券
(共通券5枚、中小規模店専用券5枚)

・給食費高騰緊急対策事業

保育所、幼稚園、小・中学校の令和5年度給食費について、令和3年度と同水準となるよう、食材費の増額分を支援します。

(1億7,500万円)



・プレミアム付商品券発行事業

物価高騰の影響を受ける市民生活を幅広く応援するため、プレミアム付商品券を過去最大規模で発行します。(2億5,500万円)

発行総数 12万セット

販売価格 10,000円/セット

購入上限 1人5セットまで

発行内容 1,000円券×12枚

(共通券6枚、中小規模店専用券6枚)

プレミアム率 20%

利用期間 令和5年2月から7月まで



・中小企業振興資金融資制度の拡大

厳しい経営状況が続く中小企業者等の資金需要の増加に対応し、原油価格・物価高騰対策資金の融資枠を拡大します。(1億500万円)

・中小事業者等物価高騰対策事業

原油価格や物価高騰等の影響による厳しい経営状況を乗り越えるために行う、売上向上や業務効率化に資する取組を支援します。(1億円)

・運送事業者等緊急支援事業

原油価格高騰の影響を受ける運送事業者等を支援するため、エコタイヤの購入費への助成を行います。

(5,000万円)



・畜産経営継続緊急支援事業

飼料価格高騰の影響を受ける畜産経営者の経営継続につながるよう、輸入粗飼料の購入費への助成を行います。(1,000万円)

・高齢者施設等新型コロナウイルス検査補助事業

感染拡大防止のため、高齢者施設や障害者施設において感染者が発生した際の従事者の検査キット購入費への助成を行います。(5,000万円)

一般議案

■指定管理者の指定

次の公共施設の指定管理者が決まりました。

- ・身体障害者福祉センター、愛光園、大平園、なかよし園、わかくさ園

指定管理者 社会福祉法人防府市社会福祉事業団

指定期間 令和5年4月1日から令和8年3月31日まで

- ・防府市まちの駅

指定管理者 一般社団法人

防府観光コンベンション協会

指定期間 令和5年4月1日

から令和8年3月31日まで



まちの駅

正副議長就任挨拶

議長
田中 敏靖副議長
曽我 好則

昨年11月、議員諸氏から信任をいただき、第45代議長および第61代副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、その重責に身の引き締まる思いでございます。

さて、現下の厳しい財政状況の中、長引く新型コロナウイルス感染症のまん延や物価高騰により、市民の皆様のご生活環境や地域経済に大きな影響が生じており、迅速・的確な感染防止対策や経済対策などの実施が求められております。

また、少子高齢化や住民福祉の充実、安全・安心なまちづくりの実現など、諸課題が山積しております。

市議会といたしましては、これら課題の解決に向けて誠心誠意努力いたしますとともに、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、市政に反映すべく取り組んでまいります。

市民の皆様には、今後も引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

条例

■学校給食費に関する条例の制定

令和5年度から学校給食費を公会計化することに伴い、学校給食費の取扱いに関し、必要な事項を定めるため、条例を制定するものです。

■市行政手続オンライン化条例の制定

デジタル手続法の施行を受け、市民の利便性向上と行政運営の簡素化・効率化を図るため、従来の書面による手続に加え、オンラインで申請・届出等を可能にするための共通事項を定めるものです。

■市体育施設設置及び管理条例の一部改正

人工芝多目的グラウンドの夜間照明のLED化に伴い、使用料を改定するものです。

使用区分	使用料(1時間につき)
1 / 2面	1,570円
1 / 4面	785円

■市職員退職手当支給条例の一部改正

市長、副市長の退職金の額を県内他市と遜色のない額とするため、支給割合を改定するものです。賛成多数により可決されました。(賛否No.1)

人事

■公平委員会委員の選任

新任 藤林 昭久 さん(富海)

■固定資産評価審査委員会委員の選任

新任 木原 正二 さん(鑄物師町)
再任 林 雅子 さん(新田)
新任 松村 省 さん(石が口三丁目)
新任 岡本 幸生 さん(新田)

■監査委員の選任

新任 宇多村 史朗 議員(富海)

— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否 No.	令和 4 年第 4 回定例会(12月)	会派・議員名																							賛否の合計		議決結果	
		自由民主党										公明党		改革	絆	敬天会		無所属の会		市民クラブ	日本共産党	防府一番						
		青木	牛見	上田	宇多村	梅本	河杉	曾我	田中敏	橋本	藤村	安村	河村	高砂	村木	今津	和田	三原	山田	石田	吉村	久保	森重	田中健	清水	松村		賛成
1	市職員退職手当支給条例の改正（議員提出）	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	19	5	原案可決

※賛否が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない議案等は、全会一致で可決しました。

※田中敏靖議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

Q&A

一般質問



12月定例議会では、15名の議員が市政について質問しました。

3月に会議録を製本予定ですので、市役所1階閲覧コーナー、防府図書館、ホームページで見ることができます。

各見出しに掲載されている二次元バーコードから、各議員の一般質問の様子を録画映像でご覧いただくことができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。



会議録はこちら



子育て支援について！

山田 耕治（絆）



問 少子化問題をどのように捉えているのか。

市長 少子化問題は、国全体で取り組む最重要課題であり、市長会などを通じて取組みについて訴えていく。

問 若者が子育てに肯定的なイメージを持てるように、乳幼児とふれあうような機会を積極的に作るべきでは？

健康福祉部長 一部の学校で行っているが、実施する学校を増やすために教育委員会と協議していく。

問 市の子育て支援の中で、LINEでの相談や、寄せられた相談内容を精査し、Q&Aとして掲載しては？

健康福祉部長 システムづくりを研究し、使いやすくなるように見直しを図る。

問 アプリのホーム画面、防府市の妊娠・子育て情報の欄に、市の『休日・夜間の応急医』や赤ちゃんの駅『あかちゃんおでかけマップ』も追加すべきでは？

健康福祉部長 提案を受けさっそく追加した。

問 「ベビーケアスペースの整備」を考えてみては？

市長 子育て環境整備の観点から、しっかり検討したい。（設置型 ベビーケアルーム⇒）

問 通学用かばんは、他の学年の児童が希望した場合は、購入可能にすべきでは？

市長 購入可能と伺っている。

問 市販リュックも含めた柔軟な対応をすべきでは？

教育長 各学校で柔軟な対応を行っている。

問 集団健診で、障がいのある子どもの個別対応ができることをホームページ等に掲載すべきでは？

健康福祉部長 ホームページ等、掲載の仕方を工夫する。



カーボンニュートラル、JR防府駅周辺の公共交通、不登校といじめ対策

河村 孝（公明党）



問 「カーボンニュートラル」の今後の推進は。

市長 新年度予算編成では、大きな柱の1つに掲げ、佐波川流域での取組、防府市産木材の木育等の有効活用、電気自動車の導入等、検討中。市民・事業者・行政の三者の連携の下、市を挙げて積極果敢に取り組む。

問 JR防府駅で、交通系ICカードが春に利用開始となる。駅周辺のバス停の誘導案内看板等の未整備や誤記により、市内外の方にバス停がわかりづらい。

市長 防府駅の「バス乗り場の案内図」を駅構内の観光案内所に設置するように指示をした。交通系案内サインをわかりやすく全面的に見直す。

問 バス路線図の「防府市生活交通マップ」や「バス時刻表」を「高齢者等バス・タクシー運賃助成制度」の申請者に紙で配布等、バスを利用しやすい環境を。

市長 「防府市生活交通マップ」をわかりやすく改訂。スマホでの提供や高齢者への紙媒体での配布も検討。

問 不登校児童・生徒への学習保障と進学・就職への支援は。また、いじめへの対応は。

教育長 タブレット端末の持ち帰りや授業支援アプリの利用、在宅生徒学習指導員の派遣による学習支援など、一人一人に寄り添った進路指導を行う。各校でいじめを認知した場合、迅速に情報共有や組織対応の協議を行い、児童・生徒に寄り添い、確実に組織的に対応する。





令和5年度当初予算編成について

曾我 好則（自由民主党）



問 令和5年度予算編成方針では、総合計画に掲げる諸事業を着実に推進するとともに、物価高騰や新型コロナにもしっかりと対応するとされており、厳しい予算編成が予想されるが、市長のご所見を伺う。

市長 令和5年度当初予算は、ウクライナ侵略や円安等による原油価格・物価高騰など、市民生活、経済活動への影響が長期化する中での編成となる。

そうした中、全議員による「原油価格・物価高騰等に対する緊急要望」や商工会議所をはじめ、多くの団体から要望をいただき、今議会において、過去最大のプレミアム付商品券発行や、事業者支援など、総額11

億2千万円となる補正予算を提出したところである。

このように厳しい環境下、総合計画の重点プロジェクトの推進や本格化する新庁舎建設もあり、予算規模は過去最大となる見込みであり、財源確保が重要となるが、私自身が先頭に立ち、全職員と一緒に頑張って、防府のまちが大きく変わり、未来を明るく形づくるよう、全力で取り組んでまいります。

まとめ 市長再選後の新年度の予算規模は、過去最大となるということだが、新庁舎建設もあり、500億円以上になることは容易に想像できる。市長就任時が約400億円であったことを思うと、たった4年間で100億円以上増やすとは、市長以外誰も想像がつかなかったと思うが、市内経済及び市民サービスの向上に確実に繋がっているため、さらに高みを目指し頑張りたい。

他の質問 公共土木施設の適切な維持管理について



高潮浸水想定区域図改正に伴う開発行為の規制 マイクロチップによる飼い主情報一元管理について

梅本 洋平（自由民主党）



問 都市計画法改正及び高潮浸水想定区域図改正に伴う市街化調整区域の開発行為の規制について、今後本市でも規制を適応するのか。市街化区域に対し取り組むべき施策の方針について、ご所見をお伺いする。

市長 市民の安全・安心を第一に災害に強いまちを作っていきたい。近年、頻発・激甚化する災害リスクに対し、国、県の見直し要請を受け、3メートル以上の浸水となる高潮浸水想定区域を、平成12年の都市計画法改正により緩和した区域から除外することとしており作業を進めている。一定の周知期間をおいた上で実施したいと考える。市街化区域に対しては、総合計画

に掲げたプロジェクトである新庁舎建設や、市道栄町藤本町線、にぎわい拠点整備、空き家対策など、魅力あるまちづくりを「まちなか」から進めていく。

問 動物愛護管理法の改正に伴いマイクロチップの装着が義務化されたことによる飼い主情報の一元管理について、本市と日本獣医師会との間でデータベースの共有を行い、飼い主の情報を一元化することは市民・行政双方に利益があると考えますが、ご所見をお伺いする。

市長 本市でもマイクロチップを鑑札とみなして、市窓口での登録手続きが不要となるワンストップサービス導入に向けて検討している。一方で、宇部市・山陽小野田市など7市町で共同利用している自治体クラウドにおける畜犬登録システムの改修が必要になることから、関係自治体と一斉導入に向けて調整している。一日も早く実施できるよう積極的に取り組んでいく。



空き家と移住・定住促進策の連携について

石田 卓成（敬天会）



問 空き家の利活用の担当部署を現行の都市計画課から総合政策部の政策推進課に移行できないか？

市長 時代の変化に柔軟に対応できる組織作りを常に進めており、今後も適切に対処したい。

問 空き家を売りたい人や貸したい人（供給側）を空き家バンクに登録するだけでなく、空き家に住みたい人や借りたい人（需要側）のデータも収集し、匿名で公表すると、マッチングできる可能性も上がるので、需要側のデータも市で集めて欲しいがいかがか？

市長 宅建業法に抵触する恐れがある。空き家問題については不動産業者や専門団体の意見を聞いて検討し

たい。

要望 若者の所得が上がらない中、安く住める空き家があれば、取得したり、借りたりして住みたいとの声も多い。特に田舎では高齢化が進んでおり、若者が来るのを待ち望んでいる地域も多いことから、移住定住促進のための空き家対策を行って欲しい。

問 既に崩れてしまった空き家のガレキを処分したいが、所有者に経済的な余裕がなく、自治会の有志が協力してクリーンセンターに持ち込む場合に無料で受け入れることができるのか？

生活環境部長 クリーンセンターで受入可能なものについては、所有者が解体し、搬入許可申請を行ったうえで搬入される場合は無料で受け入れる。

要望 ガレキ搬入時のトラックレンタル代を補助する事業や、使い勝手の良い地域交付金を導入して欲しい。



農業者に対する物価高騰対策・若者の就業環境
市職員の心身の健康

宇多村 史朗（自由民主党）



問 農業者の肥料代及び畜産農家の飼料費等の支援について伺う。

市長 肥料の高騰対策として、価格高騰分全額を補填する。また認定農業者の農業用機械修理等費用の3/4を支援する。畜産農家には飼料価格について高騰前の水準を維持できるよう国に要望する。本市独自の緊急支援策として1トン当たり6,000円を助成する予算を計上した。

要望 農業者の誰一人として、取りこぼすことなく、支援されたい。

問 若者の地元就職に向けた、市の取組みを伺う。

市長 例年5月に職業安定所所長、商工会議所会頭とともに企業を訪問し、積極的な雇用の要請を行っている。「やまぐち未来のしごとフェスタ」、ホームページ「Hofull(ハウフル)」などで地元企業の魅力等、情報発信をしている。

要望 今後も市民に一早く、情報発信していただきたい。

問 市では職員の心身の健康を保つためどのような取組みをされているのか伺う。

総務部長 毎年全職員に健康診断、人間ドックの受診、各種がん検診を実施している。また、産業医による面接指導、衛生管理者による健康相談を行っている。心の健康管理については職員も含め、管理監督職員等の研修を行っている。市独自の取組みとして職員総合相談員を配置し早期段階での支援体制を整えている。



反社会的活動から市民を守れ

清水 力志（日本共産党）



問 市は今まで旧統一協会やその関連団体との間に、寄付や行事の後援や協賛など、何らかの関係はあったか。

総務部長 全庁に確認をしたが、事実関係はない。

問 旧統一協会などの被害、脱会・脱退などに関する専用の相談窓口を市でも開設するべきでは。

総合政策部長 法テラスによる相談窓口があり、市では消費生活センターで対応している。



法テラス靈感商法等
対応ダイヤルチラシ

問 今後、寄付や講演会などの申し入れに対しての対応は。

総務部長 受け入れることはない。

問 国は個人情報保護制度の見直しに伴い、地方自治体の個人情報保護条例を改廃するように求めているが、市の対応は。

市長 全国一律の法整備がなされ、令和5年4月1日から移行することになっているが、現在の市条例を点検し、従前と変わらない体制を確保できると判断した。今後、条例の廃止と法の施行に関する審査請求諮問機関を設置する条例等の整備を進めて、万全の体制を整える。

問 法定外公共物管理条例について、どのような周知方法を取っているか。

土木都市建設部長 ホームページや相談窓口などで周知を図っている。



メバル公園がある潮彩市場周辺
の愛称等について

森重 豊（無所属の会）



問 愛嬌のある風貌から多くの人に親しみを持たれている「メバル公園」をしっかりと売り込み、潮彩市場やインクルーシブ遊具が新たに設置される緑地を含め、周辺地域全体の活性化を図ることに取り組まれているかがか。

市長 水産市場エリアの賑わいの創出を目指しており、第5次防府市総合計画の重点プロジェクトとして、現在、「強みを活かした産業力の強化」を進めている。

令和5年春には潮彩市場防府西側の緑地にインクルーシブ遊具が完成することや、令和6年度完成に向けて、北側の港湾緑地も県により整備されることとな

り、この一帯が大きく変わることになる。また、防災広場の役割や機能を紹介する、児童向け書籍で、メバル公園が大きく取り上げられたことに加え、令和6年出版に向けて準備されている、小学3年生の社会教科教科書の表紙にメバル公園が採用予定であるなど、みなとオアシス三田尻は、メバル公園として全国的に注目を集めている。

今後は、ファミリー層を中心としたさらなる来場者の増加が見込まれることから、この地域一帯が「メバル公園」となるように、案内看板の刷新に加え、潮彩市場でメバルをモチーフとした子ども向け商品の販売や、メバル公園全体を会場とした新たな大規模イベントの開催により、地域全体のさらなる活性化に取り組む。



メバル公園



防府市を12万都市へ 少子高齢人口減少・経済対策について

牛見 航（自由民主党）



問 子育て支援と人口減少対策の連動についてどのように考えているか。

市長 少子化問題は日本全体の問題、本市として安心して子どもを産み育てられる環境を第一に考えている。

問 子育て支援策は他市間競争に打ち勝つ必要がある。本市の強みを把握しているか？

総合政策部長 福祉施策については強みだと考えている。

要望 そういった強みを広く周知し、人口流入に繋がっていただきたい。

問 商工会議所が掲げた目標人口12万、防府市として

の考え方は？

市長 まずは総合計画に掲げた令和7年に人口11万2千人を確実に実現していくことにより見えてくる。高い目標に向かっていきたいという気持ちは同じ。

要望 現在の人口11万3千人より減る目標。立場的に不確実なことを言いにくい背景は分かるが、暗いニュースが続く今、影響力の高い市長が夢のあるチャレンジ目標を掲げることで多くの企業、事業者に希望を与えることができる。確実性のある目標と同時に市長には市民がワクワクし、希望の持てる発信をお願いしたい！

防府の
可能性は
無限大



子どもたちの健全育成のためのスポーツ施設について・危険な水路への転落防止について

村木 正弘（公明党）



問 令和3年12月議会において、設備の老朽化への対応を含めた麒麟レモンスタジアム野球場の今後の振興策について質問し、検討を始めるとの答弁をいただいている。今後の整備についてどのように取り組んでいけるのか。

市長 令和7年には築50年を迎える。令和4年度、検討委員会を設置、2回の検討委員会を開催し、今後の野球場の在り方について様々な御意見をいただいている。令和5年度から始まる中学校の地域部活動の場としての役割も踏まえ、改修について検討を進めている。私としては、芝の整備などの安全・安心や電光掲示板

の設置といった子どもたちがワクワクするような、夢を持ってもらえる野球場となるような改修をしたいと考える。財源確保も含め全力で取り組んでいく。

問 自転車で水路に転落する死亡事故が発生した。危険な水路への転落防止対策は。

土木都市建設部長 毎年の通学路点検や、地元の要望等で危険な箇所を把握し、必要な対策を講じている。高井地区で起きた事故の対応は、ガードレールを追加で設置し、安全対策を講じる。また、このような事故が起きないように、緊急的に水路の安全点検を実施している。

今後も市民の安全・安心な暮らしを守るため、今回の事故を踏まえ、これまで以上に水路等への転落防止対策も含め安全対策に取り組んでいく。



緑地管理基金について 法定外公共物について

久保 潤爾（無所属の会）



問 市の一般会計には16の基金が設置されているが、緑地管理基金は10年間、積み立ても取崩も行われていない。目的に応じた基金活用をし、市の緑地環境整備に使っていく方がよいと思うが如何か？

市長 平成23年に新築地緑地の整備に活用して以来、良好な状態が保たれており、ご指摘の通り10年間活用に至っていないことから、当基金の役割は終了していると考えている。今後はカーボンニュートラルのさらなる取り組みに資するため、当基金と森林環境整備基金との一元化を含め、幅広く財源として活用できるように、しっかりと取り組んでいきたい。

問 法定外公共物の管理責任者は市町村だが、地元の生活に密着したものという理由で、地域住民が維持管理を行っている。しかし、自治会に対する考え方の変化や高齢化などで、地域による維持管理が難しくなってきたと思うが、市の認識はどうか？

土木都市建設部長 これから維持管理が困難になるとのご意見も多くいただいている。資材支給の拡充なども行ってきたが、今後は関係部局と協議し、様々な角度から検討していきたい。

問 地区からの聞き取りを行ったうえで、工事・草刈り作業等の代行に対して補助金を支給してはどうか？

市長 公民館の機能強化の視点からも総合的に取り組んでいきたい。



**防府バイパスへの接続市道の安全対策を
1歳前後乳幼児、低出生体重児への支援を**

高砂 朋子（公明党）



問 令和元年9月より、県道防府環状線牟礼工区開通による国道2号接続のために必要となる周辺道路整備や、新たな信号機設置等の安全対策の要望を重ねてきた。今後の事業の流れ、整備内容を伺う。

答 防府環状線と国道2号接続について、下関方面へのスムーズな接続が大きな課題だったが、国や県と協議し、市事業として実施可能に。令和7年度完成を目指し、同5年度から市道拡幅事業を実施。防府環状線と市道焼田大平山線交差点の信号機設置は、県・公安委員会で検討中。

要望 国道2号台道拡幅事業については、長年、期待されている多くの皆さまの思いをさらに国へ届け、拡

幅・歩道整備の早期実現の機運を高めていただきたい。

問 乳児期から幼児期に移行する成長・発達の著しい1歳前後は、個人差が大きくなる時期であり、育児への不安を抱える保護者もおられる。この時期における支援の充実が必要では。

答 母子保健推進員による家庭訪問や毎月実施の乳幼児相談、子育て応援室「まんまるほうふ」でも随時相談を受けている。産後うつや早期発見や児童虐待防止の視点からも大変重要。関係機関と連携し、支援に努める。

要望 低出生体重児の保護者に寄り添ったきめ細やかな支援を。専用の「リトルベビーブック」の活用を。

【その他の要望】

今後、市との関係人口を増やすための取り組みが必要。庁内横断的な組織の編成とコーディネート機能の充実により、「防府ファン」の創出・拡大のための取り組みを。



**通学用かばんについて
校則について**

和田 敏明（改革）



問 令和5年度の新小学1年生に通学用かばんが無償支給される。新1年生にとってランドセル購入は、一生に一度の楽しみであるが、なぜか提案当初と使用条件等が変わっている。調査では、既にランドセル購入済みの方は多く、支給の必要はないが、その場合のかばんの処理は、また、校外活動での使用とは何か。

教育長 保護者の負担軽減も含め全員平等に贈る。社会見学等、様々な場面での使用を想定。

意見 不必要な方には負担軽減にならないため、補助金対応など、税金を平等に配分されるべきである。

問 文部科学省より、必要かつ合理的な範囲を逸脱した、

いわゆる“ブラック校則”の見直し、ホームページでの公開など、生徒指導提提案が出された。同年、校則の見直しについて質問をしたところ、全て見直しを行ったとの回答だったので、調査したが、不必要・不合理と疑わざるを得ない校則が見受けられた。例えば、ランドセル・手袋、マスク等は色指定がないのに、靴や靴下は白に指定されているが、なぜ、汚れが目立ちにくい黒や紺色ではいけないのか。肝心なことは、“時代に即しているか、勉強の邪魔或いは校内が荒れる”など明確な理由が示され、児童・生徒から問われた場合、全ての教育者が均しく理由を説明し、納得させることが大切だが如何か。

教育長 まずは、教職員が共通理解を図り、児童生徒へ同じ対応ができることが大切。

意見 各学校で不平等が生じないように、校則等に対し教育委員会はチェックし正すべきである。



**たばこ税8億円 新庁舎に併せて喫煙所の整備
温室効果ガス削減 ⇒ レジ袋に市指定ゴミ代用**

三原 昭治（絆）



問 新庁舎の建設に併せた喫煙所の整備計画は。

総務部長 新庁舎建設に伴う喫煙所の選定について、これまで6か所を検討し、立体駐車場周辺で検討を進めている。

問 過去5年間、市の税収となったたばこ税の額は。

総務部長 年間7億3,000万円から7億9,000万円で推移している。

問 萩市においては、空気清浄機、エアコンも完備したきちんとした喫煙所を設けており、本市も同様の形で整備をすべきだ。

総務部長 参考にしたい。

問 市が導入した、原料に植物由来のバイオマスプラスチックを配合した指定ゴミ袋のメリットは。

生活環境部長 バイオマスプラスチックを10%使用。従来のゴミ袋と比べ二酸化炭素の排出量を年間55.5トン削減できる。

問 メリットのあるバイオマスゴミ袋を、スーパーなどで買い物袋として代用し、原料が石油のレジ袋を削減する取り組みを行っている自治体がある。また、ほとんどの人が読まないゴミ袋印刷の説明書きを、子どもたちなどから環境をテーマにしたイラストやコメントを募集して用いれば、意識高揚にもつながり効果があると思う。取り入れては。

市長 レジ袋にゴミ袋を利用することにおいて課題もあるが、どのように展開していくか、検討していきたい。



市指定ゴミ袋



こども基本法・災害ハザードエリア
サイエンスパークに日よけの設置を！

田中 健次（市民クラブ）



問 「こども基本法」が令和5年4月に施行されるが、これに対する体制整備をどうするのか？

市長 こども基本法第5条で、地方公共団体はこども施策を策定・実施する責務を有しており、国が打ち出す施策を見極め、子育て支援策や各課が横断的に取り組める体制の整備・強化などを総合的に進めます。

問 「開発行為の許可基準に関する条例」の改正により、令和4年4月から災害ハザードエリアの開発が抑制された。その後、5月には、県により高潮浸水想定区域が指定された。今後、条例区域の見直しはどのように検討されるのか？

土木都市建設部長 国の基準に従い、3 m以上の浸水となる高潮浸水想定区域を平成12年の開発行為緩和区域から除外することとし、開発許可区域の見直し作業を行っています。土地所有者への影響は大きいので、一定の周知期間において実施します。

問 青少年科学館のサイエンスパークに日よけ、雨よけの施設を設置すべきではないか？また、施設全体のリニューアルを検討すべき時期ではないか？

教育部長 これまでも、必要な改修を計画的に行っており、日よけ等のご提案も参考にします。リニューアルは、各種助成金の活用等による財源確保にも努めながら、計画的に行ってまいります。



サイエンスパーク

デジタル推進調査特別委員会（10月18日）

本市のデジタル化に関する取組の全体像を把握するため執行部からデジタル推進の背景や現在の取組みについて説明を受けました。

【主な質疑】

問 市がLINE公式アカウントを開設したが、今後のサービス向上に向けた構想は？

答 まずは情報発信を拡充していくための土台づくりと考え、運用にかかる費用や発信する側の課題をクリアしながら確実に進めていきたい。

問 自治体情報システムが標準化・共通化することで、各自治体の独自業務が阻害されることが懸念されるが、どのように考えているか。

答 システムを標準化・共通化する主な目的は、システム間のデータ連携をスムーズにすることにあり、各自治体による独自のカスタマイズは極力避けるべきと考える。今後、国から示される仕様も注視し、市民サービスが低下することのないよう、費用面も考慮して対応したい。

要望 マイナンバーカードが普及することに対し、セキュリティの面で不安を感じる市民がおられる。安全性は担保されていると思われるが、その部分をしっかりと周知していただきたい。



産業建設委員会 所管事務調査（10月21日）

【都市計画の見直しの方針について】

都市計画道路は、44路線、約125.5キロあり、約68.8キロ、約55%が完成。未整備路線は、22路線、約56.7キロあり、この全てを見直し対象路線とする。県策定の都市計画区域マスタープラン、第5次市総合計画等の整合性、交通の需要バランス、アクセス機能等で、必要性の検証、評価を行った。

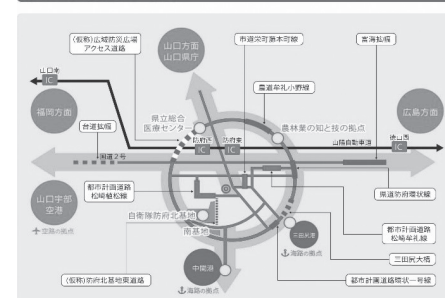
そのまま存続させる区間は34区間、線形を変更する区間が7区間、車線数を変更する区間が5区間、廃止は13区間を見直し案としたい。

今後の予定は、宅地・建物の取引を行う事業者、建築事業者との意見交換、学識経験者等の外部委員会、

パブリックコメント、都市計画審議会を経て、令和5年3月末までに見直し方針を公表したい。なお、この公表により、直ちに変更や廃止されることはなく、路線ごとに市民への説明、都市計画審議会、県との協議などの手続きを経て、廃止や変更の告示を行う。

委員からは個別の路線の質疑や市民への丁寧な説明

防府・未来へのネットワーク構想



の要望がありました。

道路ネットワーク
「輝き！ほうふプラン
（第5次総合計画）」
より抜粋

視 察 報 告

総務委員会

(10月25日～27日)

【移住・定住促進について（岡山県高梁市）】

平成25年4月定住対策課を設置後、平成28年「住もうよ高梁推進課」に課名変更。主な施策として、空き家情報バンク制度(登録数・成約数は岡山県下トップクラス)、空き家バンク活用促進助成金、若者定住促進住宅助成事業、新婚新生活応援事業、移住コンシェルジュを導入。移住コンシェルジュは、官民地域の連携・協働による移住サポート体制の強化を図るため、移住促進に係る総合的な事業を民間委託により実施。現在、専任の移住コンシェルジュ1名を配置されていました。



【移住・定住促進について、ぼっけーまち会議について（岡山県笠岡市）】

定住促進センターを平成21年4月に設置。主な施策として、「ぼっけーまち会議」（笠岡に住んでいる方、勤務している方、興味のある方で高校生から40歳代までで構成される「自ら考え、自ら企画し、自ら実行する」若者の集まり。）を導入。自然体験プロジェクト、高校生体験プロジェクトなどを通じて転入者の入口になったり、繋がりを作る団体を目指されていました。

【岡山市地域の未来づくり推進事業について（岡山県岡山市）】

事業政策課が担当。主な施策としては、「地域の未来づくり推進事業」を導入。地域の課題解決のため、地域活力の創出と生活機能・サービスの維持を中心として活動を展開。最終形態としては、持続可能なコミュニティビジネスの創出を目指されていました。

教育民生委員会

(10月26日～28日)

【ICT教育の取り組みについて（熊本県熊本市）】

先進的に取り組みをされています、熊本市の教育センターにて子どもたちのICT（タブレット端末）の利用状況などを伺ってきました。特にタブレット端末を導入するにあたり「先生が教える授業」から「子どもたちが学びとる授業」への転換が行なわれているなど、ソフト面での変化という新たな視点での気づきをいただき参考になりました。

【子育て支援について（鹿児島県始良市）】

子育てに係る行政や家庭、地域などの役割と責任を明記した子育て基本条例を定め、また、幼児期から高校期までの成長において、それぞれの時期に適したアドバイスを掲載している子育て手帳を作成され、市を挙げて子育て支援に力を入れておられます。ほかに、

児童・生徒の道德教育と学力向上にも力を入れておられ、始良市教育長や職員の皆さんとの意見交換は大変有意義でした。

【かごしま環境未来館について（鹿児島県鹿児島市）】

市民、事業者が環境について関心を深め、日常生活や事業活動に自発的に環境保全活動を実践すると共にその活動の輪を広げていくことを促進するため、平成20年にオープンした施設です。デジタル地球儀や手作りの展示物には大変目を見張るものがあり、楽しく環境問題やSDGsを学べる施設となっていました。来館者数を増やすため、多くの講座などを開催、それを利用する団体を増やすことで継続的な利用の促進につながっていました。



デジタル地球儀

産業建設委員会

(10月25日～27日)

【新規就農者技術習得研修施設（インキュベーションファーム）と移住支援（大分県豊後大野市）】

夏秋ピーマンを主軸とした新規就農者を継続的に確保、育成する研修施設を平成24年に設立し、既に21組42名が就農し移住。55歳未満の2人以上での参加を条件に年に3組を募集。営農指導員も寄り添い、農業所得400万円を目指し、2年間の研修。募集はホームページを使い、広く全国から。視察では、研修生との意見交換も行いました。



研修生との意見交換（豊後大野市）

【大分市産業活性化プラザでの創業支援（大分県大分市）】

創業及び中小企業者の事業活動等を支援する拠点として平成18年開設。創業する人が、安い使用料で入居できる創業支援ルームがあり、インキュベーションマネージャー等の専門家が常駐し、経営指導が受けられる体制を構築。創業支援体制の参考になりました。

【6次産業の取組について（大分県中津市）】

「なかつ6次産業プロジェクト」として、中津市の農林水産物を活かした取組。商品デザインやマーケティング、販売促進は、開発時からバイヤーの意見を取り入れ、アドバイザーと共に指導をするなど支援。また、独自のネット販売「なかつ燦燦市場」も展開。6次産業取組の参考になりました。

自治会連合会との意見交換会 いただいたご意見を執行部に 伝えました

令和4年8月に開催しました3地域（小野地域、玉祖地域、華浦地域）の自治会連合会との意見交換会では、参加された方から多くのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、議会改革推進協議会で会議録にまとめ、執行部に伝えました。

今後も市民の皆様の声を市政に反映できるように努めてまいります。



12月14日に議会改革推進協議会会長から総務部長へ
会議録を渡しました
(左：河村副会長 中央：久保会長 右：能野総務部長)

会派・議会運営委員会・議会改革推進協議会名簿

会 派 名	人数	所 属 議 員 名 (◎代表者)	議会運営委員会 (任期1年) (◎○正副委員長)	議会改革推進協議会 (任期2年) (◎○正副会長)
自由民主党	11	◎河杉憲二 青木明夫 上田和夫 牛見 航 宇多村史朗 梅本洋平 曾我好則 田中敏靖 橋本龍太郎 藤村こずえ 安村政治	◎橋本龍太郎 青木明夫 梅本洋平 河杉憲二 藤村こずえ	牛見 航 橋本龍太郎 藤村こずえ
公明党	3	◎高砂朋子 河村 孝 村木正弘	高砂朋子	○河村 孝
改革	2	◎和田敏明 今津誠一	今津誠一	和田敏明
絆	2	◎山田耕治 三原昭治		三原昭治
敬天会	2	◎石田卓成 吉村祐太郎	石田卓成	吉村祐太郎
無所属の会	2	◎久保潤爾 森重 豊	○森重 豊	◎久保潤爾
市民クラブ	1	◎田中健次		田中健次
日本共産党	1	◎清水力志		清水力志
防府一番	1	◎松村 学		松村 学

※会派は、主として政策に関して同一の理念を共有する議員が集まってつくる集団です。この会派を中心に議会活動をしています。

防府市議会では、現在9の会派が構成されています。

※議会運営委員会は、議会の運営、会議規則、委員会に関する条例等や、議長の諮問に関する事項を審査します。

※議会改革推進協議会は、議会改革に関する協議、調整や議会基本条例の検証をします。

常任委員会名簿（任期2年）

委員会	委員数	所属委員名（◎委員長、○副委員長）	所管事項
総 務	8	◎高砂朋子 ○梅本洋平 今津誠一 久保潤爾 曾我好則 橋本龍太郎 松村 学 三原昭治	防災・財政・税務・文化・スポーツ・ 観光・消防・選挙など
教育民生	9	◎藤村こずえ ○河村 孝 青木明夫 石田卓成 上田和夫 河杉憲二 清水力志 田中健次 田中敏靖	戸籍・環境・健康・福祉・教育・ 文化財など
産業建設	8	◎安村政治 ○吉村祐太郎 牛見 航 宇多村史朗 村木正弘 森重 豊 山田耕治 和田敏明	産業・道路・上下水道・競輪など
予 算	24	◎久保潤爾 ○村木正弘 議長を除く全議員	一般会計予算



11月

- 16日 勉強会
- 17日 議会運営委員会
- 22日 12月定例議会開会
議会運営委員会
議会改革推進協議会
議会広報編集委員会
- 28日 本会議（一般質問）
- 29日 本会議（一般質問）
- 30日 本会議（一般質問）
議会運営委員会

12月

- 6日 予算委員会（全体会）
全員協議会
議会運営委員会
- 7日 総務委員会
- 8日 教育民生委員会
- 9日 産業建設委員会
- 14日 12月定例議会閉会
議会運営委員会
太陽光発電に関する条例検討協議会
議会広報編集委員会

1月

- 10日 議会広報編集委員会
- 11日 議会改革推進協議会
- 17日 議会モニターとの意見交換会
- 19日 議会広報編集委員会

3月定例議会の予定

- 2月21日（火） 本会議（開会）
- 22日（水） 予算委員会（全体会）
常任委員会・予算委員会分科会
（総務・教育民生・産業建設）
- 24日（金） 予算委員会（全体会・採決）
- 28日（火） 本会議
- 3月2日（木） 本会議（一般質問）
- 6日（月） 本会議（一般質問）
- 7日（火） 本会議（一般質問）
- 8日（水） 本会議（一般質問）
- 13日（月） 予算委員会（全体会）【新年度】
- 14日（火） 総務委員会・予算委員会総務分科会【新年度】
- 15日（水） 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会【新年度】
- 16日（木） 産業建設委員会・予算委員会産業建設分科会【新年度】
- 20日（月） 予算委員会（全体会・採決）【新年度】
- 24日（金） 本会議（閉会）



会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

編集後記

本号から議会広報編集委員会のメンバーが交代しました。令和5年の議会だよりの表紙では閉会中の議員活動の状況を紹介させていただきます。議員一人一人が市民の声を市政に反映するために日々たくさんの活動をしています。市議会としても、様々な団体との意見交換会や懇談会、研修会、行政視察など本市発展の為、日々研鑽に励んでいます。

市民の皆様に分かりやすい紙面になるよう努めてまいりますので、ご意見も頂くと幸いです。市民の皆様の今後ますますのご理解とご協力をお願いします。

議会編集広報委員会（◎委員長、○副委員長）

◎松村学 ○吉村祐太郎 高砂朋子 橋本龍太郎

藤村こずえ 安村政治

